ハイパワーバーナ・

コンロ型

9本立 12本立 15本立

釜 土 型

9本立 12本立 15本立 特殊型

この商品は



設置上の注意

ハイパワーコンロ型

ハイパワー・ユニジェット釜土型

- ①当器具銘板の表示ガス(ガスグループ)とご使用になるガスと同であることをご確認の上、設置して下さい。
 - 注1 銘板は器具の混合管部分に貼付してあります。
- ②壁等が可燃性の場合(断熱材使 用の場合も) 周囲の可燃物より 20cm以上離して設置して下さい。
- ③床面は不燃構造とすること。

釜土型 空間寸法 空気 空気

②当器種は金土型タイプです。必ず不燃構造のステンレス製金土、又は耐火モルタル製金土等の中にセットしてご使用下さい。尚、バー ヘッドから鍋底までの空間寸 法は下記の通りです。 この範囲内で設置して下さい。

ハイパワー釜土型

-----150~170mm

ユニジェット L 型釜土型

.....100~120mm

ユニジェット M 型釜土型 -----50~70mm

③釜土の中の燃焼室部分は給排気が 選上の中の流焼室部がは相解がか 充分にとれる構造(出来ればバー ナーを置く底部は、下からの空気 の流通が充分とれる開放構造)で バーナーのコック部分は釜土の外 に出るよう設置して下さい。

設置上の注意

コンロ型

釜土型

サントクの商品は業務用として設計されておりますので 普通の家庭用コンロより火力が強力です!この事を常に 意識していただき、調理中にその場を離れたり、お子様 に使用させたりするのは危険ですので止めて下さい。

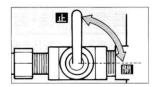
- ④バーナー本体が金枠に正しくセットされ、 ゴトクが金枠にズレないようセットされて いるかご確認下さい。

 - 注2 ノズル(立っているバーナー部分) は固く締めすぎず、半回転程ゆる めた状態でセットしてご使用下さい。 掃除の際の取外しが楽ですし、 回転程度ではガスもれの心配はあ
- ④バーナーの全長の変更、 あるいは途中を曲げた りの配管変更は可能で す。但し、その際のパイプ取替え等の工事では、 接続等からのガスもれ が起きないようガス止 接着には充分注意して 下さい。
- ⑤ゴム管の接続は正しく奥まで差込み、ゴム管止めにてシッカリ固定して下さい。
 - 注1 『IIS マーク』のゴム管(ガス用)をご使用下さい。
 - 注2 折れやねじれ、引っ張り等ないよう必要限度の長さでご使用下
- 注3 ゴム管の太さは、器具ゴム管口の太さと同一のものをご使用下 ×111
- ⑥ガス管等にての直接の接続は、ガス工事業者に依頼して行って下さい。
- ⑦このタイプの炎口は煮こぼれ等により目づまりしやすいタイプです 上からの煮こぼれが直接炎口に落ちない構造の釜土のみにて、設置ご 使用下さい。 煮こぼれにより、簡単に燃焼不良を生じ危険ですから、くれぐれもご注意

設置上の不明な点がございましたら販売店か 直接当社までお問合せ下さい。

使用上の注意

- ①ご使用前の確認と準備を正しく 行って下さい。
 - 注1 ゴム管の接続状態に異常がないかご確認下さい。
- 注2 器具のガスコックが閉じていることを確認の上、元コックを開けて下さい。

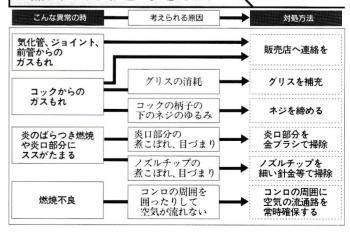


- ②点火はマッチ等で、メインバーナーに着火させて下さい。
 - 注1 メインバーナーへの着火時は調理に使用する鍋等を載せて行って下さい。
 - 注2 初めて使用する時、しばらく使用しなかった時等にはゴム管内の空気が入っておりますので、空気抜きの為に点火装作を繰返 して下さい。
- ③空気調整は固定式ですので、 日常の空気調整は行えません。従っ て最初の器具設置時に点火テストを行って下さい。
 - 注1 炎が飛んで着火しにくい場合や先端に黄色い炎が出る場合は、 供給ガスの圧力や供給量、ガス種を再度チェックし、正しいガ スの供給状態を確保して下さい。
 - 注2 火力の調整は原則として弱火等は出来ません。基本的にはメインコックを全開か、消すかのどちらかで弱火状態を5~10分以上続けますと、炎口部分等にススがたまりますので充分ご注意
- ④日常使用時に、炎の状態に変化が起きてきた時は「点れの注意」に従って、点検・お手入れを行って下さい。 炎の状態に変化が起きてきた時は「点検・お手入
- ⑤ご使用中は、危険ですので器具のそばを離れないで下さい。
- ⑥ご使用中、及び直後は器具の温度が高くなりますので、ガスコッ ク以外は触れないで下さい。
- ⑦狭い部屋、締め切った部屋でのご使用や長時間のご使用時には必ず部屋の換気が必要です。時々窓を開けたり、換気扇を回して換気を行って下さい。尚、窓のない部屋には必ず換気口を設けて下 さい。
- ⑤消火時はバーナーコックを完全に閉じ、必ず消火を確認し、使用後は必ずガスの元コックも閉めて下さい。
- ⑨パイロット(種火)付の器種は、パイロット(種火)の点火確認をし、メ インバーナー着火確認後ご使用下さい。
- ⑩コンロ型での使用寸胴鍋寸法はゴトク外径寸法プラス30mmまで の鍋をご使用下さい。

日常の点検・お手入れの注意

- ①点検・お手入れは、器具が充分に冷えてから行って下さい。 ②点検·お手入れは、定期的に行って下さい。
 - 日常的に毎日くらい ● 注1 炎口部の目づまり掃除
- ノズルチップの目づまり掃除 一週間に一回くらい 1 注 2
- ③ゴム管が古くなってひび割れたり、折れ曲がったり、器具に触れてい たりしていないか。元コックやゴム管口に充分に差込まれているか、 時折点検して下さい。
- ④バーナー本体の周囲にたまった煮こぼれ汚れは、常に早めに除去し て下さい。気化管が腐蝕しやすくなり、ガスもれの原因にもなりま

器具の異常と対処方法



使用中にご不審な点がございましたら直ちに使用 検をしていただいた上で、販売店か当社までご連